

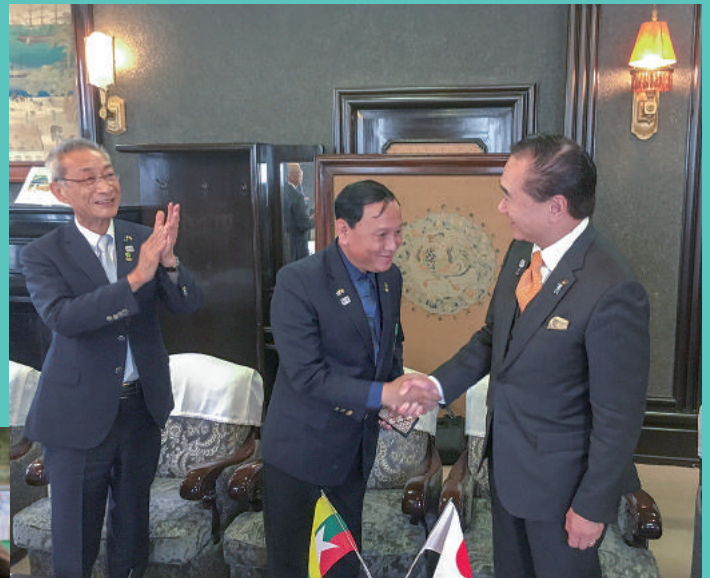
FGC NEWS



公益財団法人 世界こども財団

FGC—Foundation for Global Children

No.13 October 2018



国際交流・支援活動

- ミャンマーと事前キャンプ協定締結
- ブータンで多数イベント開催！
『BAAF-SEISA 中長距離チャンピオンシップ』
『ブータン国際マラソン』
『オリンピックデイセレブレーション』
- 『エリトリアを知ってつなげるキックオフ！』
セミナー開催
- ブータンから新留学生来日
- 留学生活動報告
- オリンピックコンサート 2018 開催



東日本大震災支援

- 大磯町でサッカー交流実施



ミャンマーオリンピック委員会と 東京五輪事前キャンプ協定を締結



事前キャンプ協定調印式にて（左から箱根町 勝俣副町長、世界こども財団 宮澤理事長、MOC ミョー・ライン事務局長、神奈川県 黒岩知事、大磯町 中崎町長、小田原市 加部副市長）

2018年4月24日（火）、世界こども財団と星槎グループは、ミャンマー連邦共和国オリンピック委員会（MOC）と東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての事前キャンプに関する協定を、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町と共に締結しました。県内での事前キャンプ実施決定は10件（9カ国）目で、そのうち3カ国が星槎グループと協同で実施したものとなります。

「アジアのラストフロンティア」と言われるミャンマー連邦共和国。人口5,141万人、国土は日本の約1.8倍あるアジアの大国です。民主化を実現し、現在も著しい経済成長を続けており国内外から注目を浴びている一方、大きな社会変動の中で様々な課題を抱え

ていることでも知られています。

世界こども財団と星槎グループでは、2012年から医療、教育の分野でミャンマーへの支援を開始しました。学校を起点とする保健衛生向上のためのスクールヘルスプログラムや、白内障治療の支援を実施し、救急医療、巡回医療のための救急車2台を寄付するなど、活動を続けてきました。これまでにミャンマーの高校生や大学生の日本での研修留学プログラム等も行っています。また、ミャンマーの首都ネピドーにあるサマタウン孤児院を継続的に支援し、孤児院の関係者を日本に招き、日本の児童養護施設等の施設運営について学ぶプログラム等も実施しています。

そして昨年2017年からは、エリトリアやブータンに続き、ミャンマーでもスポーツを通じた青少年



4月24日には一般社団法人日本ミャンマー協会様との共催でレセプションパーティーも開催しました



宮澤保夫理事長とMOC ミョー・ライン事務局長

育成プログラムを本格的に開始しました。2017年4月にはミャンマーオリンピック委員会（MOC）と"Myanmar-Japan Sports Collaboration"の協定（Letter of Agreement）を結び、同協定にもとづき、MOCから2017年8月にマレーシアで開催されたSEA Games（東南アジア競技大会）に向けたミャンマー代表チーム支援の要請を受け、約5カ月にわたり、同国陸上競技代表チームに中長距離の日本人コーチを派遣。さらに2017年7月には星槎道都大学で1カ

月にわたり、同国の柔道代表チームの強化合宿の受け入れを実施しました。ミャンマーと比べ格段に涼しい北海道の気候のもと、星槎道都大学の柔道部との充実した合同練習に励んだ選手たちは、SEA Gamesでも活躍を見せ、女子選手1名（78kg級、エー・エー・アウン選手）が見事銀メダルを獲得しました。

プロジェクトをさらに進めていくため、2018年4月22日から27日にかけて、MOC事務局長のミョー・ライン氏をはじめ4名を世界子ども財団と星槎グループで日本に招き、事前キャンプ協定の調印と合わせて視察と協議を実施。星槎箱根キャンパス、星槎レイクアリーナ箱根、小田原市の城山陸上競技場といった神奈川県内の各施設を訪問しました。MOC一行は各施設を非常に高く評価し、2020年に向けた協働についても、様々な観点から協議を行うことができました。また東京都の味の素ナショナルトレーニングセンターの視察、日本オリンピック委員会の竹田恆和（つねかず）会長への表敬訪問等も実施しました。

その後も5月、7月と世界子ども財団はミャンマー現地を訪問し、スポーツ留学生の長期受け入れや各競技への支援等、事前キャンプ協定にもとづく支援と交流のプログラムを推進しています。

エリトリアやブータンと同じく、ミャンマーへの支援、交流のプロジェクトも、2020年だけが目標ではなく、東京オリンピック・パラリンピック大会を一つのきっかけとして、2024年、2028年、そしてさらに未来へと続く活動を続けていきます。スポーツを通じてミャンマーの未来を担う青少年育成に寄与し、更にそのことがミャンマー、日本両国の若者たちの絆を深め、両国の友好関係の発展につながっていくことが、私たちの願いです。（FGC事務局 石井洋祐）



BAAF-SEISA 中長距離チャンピオンシップ開催

2018年2月25日、ブータンアマチュア陸上競技連盟（BAAF）と星槎グループ（SEISA）による「BAAF-SEISA 中長距離チャンピオンシップ」がブータン王国の首都ティンプー市内で開催されました。400名以上の選手がブータン全土から集まり、スプリント競技よりも長いトラックレースの種目を中心に、800、1,500、3,000、5,000、10,000mの全5種目で行われました。

最長距離レース 10,000m では全国から 18 名の選手が集まり競い合いました。本カテゴリーでは、王立軍所属 32 歳の Kinley Gyeltshen 選手が 38 分 24 秒でレースを完走し見事優勝しました。「私がここに着いたとき、私は多くの参加者、特に、青少年を見て興奮しました。私は 10,000m のレースカテゴリーで

優勝したことを嬉しく思います」と Kinley 選手は話しました。

終日行われた本大会の目的は、スポーツを通じて青少年を育成する上で、全国に点在する若い才能あるアスリートを特定するためにも行われ、盛況のうちに幕を閉じました。優勝者や潜在能力のある選手は、これから国際大会に向けてブータン代表となるために必要なトレーニングを BAAF にて受けることになります。なお、ブータンアマチュア陸上競技連盟（BAAF）は、ブータンオリンピック委員会（BOC）と星槎グループの支援を得ることにより、本大会を恒例行事として実施することで、新たな選手発掘、陸上啓発活動、選手育成の一環として取り組むこととしています。

大会新記録で2年連続優勝!! ブータン国際マラソン



星槎グループ及び世界子ども財団へ感謝状寄与

3月3日、星槎道都大学の原由幸選手（当時経営学部4年）と水越進一選手（同1年）がブータン王国の古都プナカで開催された第5回ブータン国際マラソン（フルマラソンの部）に出場しました。

フルマラソン2連勝を達成しました。

一方、旅行も含め初めての海外経験となった水越選手は、コンディション作りに苦戦し22位でフィニッシュしました。ブータン滞在中は、昨年に引き続き星槎国際高校湘南卒業生（ブータンサッカー代表 GK）のキンザン選手にガイドをしてもらいました。改めて



星槎道都大学原選手の激走



見事優勝を果たした原選手。
表彰式にて

昨年同大会のハーフマラソンの部を大会新記録で制した原選手は、その経験を生かして序盤から独走し、これまでの大会記録を10分以上更新する2時間27分18秒の大会新記録で優勝を飾りました。また、原選手は昨年12月の奈良マラソン2017に続き見事

星槎の仲間の輪を感じる時間を過ごすことが出来ました。なお、優勝賞金は昨年同様ブータンスポーツ振興のために寄付をさせていただきました。

以下、両選手からのコメントです。

原選手「優勝と大会記録更新という目標をしっかりと達成できて嬉しく思います。昨年まで4年連続優勝

している選手が今回は出ていなかったのも、一緒に競い合えば、もっと記録は更新できると思います。」

水越選手「長時間の移動と辛い食事でコンディション作りが難しく、力を出し切る事が出来ませんでした。貴重な経験が出来たので、この経験を必ず今後に生かします。」

オリンピックデーセレブレーション in ブータン

オリンピックの開催は、人々に大きな夢を与える最大の祭典であると同時に、オリンピックの基本精神と理想を多くの人々に広く理解してもらう最高のオリンピックムーブメントでもあります。

第二次世界大戦後の1948年、国際オリンピック委員会（IOC）は第42次総会において1894年6月23日のIOC創設を記念し、同日をオリンピックデーとすることを決めました。その後、IOCは各国のオリンピック委員会（NOC）に、オリンピックムーブメントの一環としてオリンピックデー記念行事を実施するよう呼びかけてきました。

「スポーツを通じて相互理解と友好の精神を養い、平和でより良い世界の建設に貢献する」というオリンピックイズムの普及と、更なる理解を得るための活動がオリンピックムーブメントであり、選手やオリンピック関係者のみならずスポーツを愛する誰もが楽しみながら参

加できるものです。

ブータン王国では、毎年4月一週目の土曜日にブータンオリンピック委員会（BOC）主催、地方自治体協力のもとオリンピックデーセレブレーション（ODC）を国内各県で実施しています。本年は4月7日古都プナカで開催され、宮澤保夫理事長他、アジア・オリンピック評議会（OCA）、インドネシア・アジア競技大会組織委員会（INASGOC）がODCに招待されました。「ブータン全土でスポーツの楽しさを学んでもらいたい。多くのスポーツ競技種目を経験し、国全体でオリンピックやスポーツに対する興味をより深く持ってもらいたい。こども達の健康増進を推進させたい。」というBOC会長ジゲル・ウゲン・ワンチュク殿下の考えが、本イベント開催の目的となっています。毎年異なるスポーツが体験できる仕組みが施されており、今年はサッカー、ボクシング、テコンドー、クリケット、バドミントン、アーチェリー、クフル（伝統的なダーツ）、ウェイトリフティング、陸上、射撃の10種のスポーツ体験をプナカ県内から1000人以上の小中学生が楽しみました。

また、今年8月18日よりインドネシアの首都ジャカルタで行われた第18回アジア競技大会の海外広報行事「ファンラン（Fun Run）」も同時開催され、中学生500名がプナカから隣県ガサまで5kmを走り抜きました。こども達は、走る楽しさを学び、本イベントとアジア競技大会の開催を祝いました。プナカ県小学生の保護者は、こどもがスポーツをするのを今回のODCで初めて見たと語っており、「スポーツの多くは理解していないが、見るのは楽しい」と話していました。

標高1,200メートルの自然の中、ODCに参加した大人も子どももイベントを見守っていた周囲の人たちも、全ての人に笑顔の連鎖が広がっていました。

（FGC事務局 石田博彰）



アジア・オリンピック評議会とインドネシア・アジア競技大会組織委員会から記念の盾を贈呈



リオオリンピックのカルマ選手からアーチェリーの手ほどきを受ける宮澤理事長



エリトリアを知ってつながるキックオフ! 小田原箱根商工会セミナーにて エスティファノス大使、宮澤保夫理事長が講演

2018年5月11日（金）、おだわら市民交流センター UMECO にて、「エリトリアを知ってつながるキックオフ!」セミナーが開催されました。小田原箱根商工会議所の有志のみなさんが2020年東京オリンピック・パラリンピック大会においてエリトリアのホストタウンとなる小田原、箱根の地域の人々にもっとエリトリアを身近に感じていただき、選手団をお迎えするおもてなしの機運を高めようと企画をされたイベントで、世界こども財団と星槎グループではコーディネートやイベント運営のサポートを行な



エスティファノス・アフオワキ駐日エリトリア国大使の講演



宮澤保夫理事長の講演

ったほか、宮澤保夫理事長がエスティファノス・アフオワキ駐日エリトリア国大使とともに講演を行いました。

エスティファノス大使にはエリトリアの歴史や地理等の概要と、宗教的な寛容さ、女性が夜一人で歩いても危険がないほどの治安の良さ、そして豊富な資源等、同国の魅力についてご紹介いただきました。宮澤理事長は、個人として独立直後に初めてエリトリアに入国した日本人として、同国との出会いや特別な思い、そしてスポーツ支援を含めこれまでの世界こども財団や星槎グループのエリトリアでの支援や交流の経緯についてお話ししました。

当日は100名を超える方にお越しいただき、セミナーは盛況となりました。今回のイベントは神奈川県とホストタウン、そして星槎グループが共同で実施している「SKY プロジェクト」の一環でもありました。世界こども財団では今後も、オリンピックを契機として、スポーツにとどまらず広く国際理解と友好につながる活動を続けていきます。（FGC 事務局 石井洋祐）



（左から）宮澤保夫理事長、エスティファノス大使、小田原箱根商工会議所 鈴木悌介会頭



スポーツ奨学生プログラム

ブータン王国から、 新しい留学生が来日しました!

1月、ブータン王国から3人の新しい留学生が来日しました。星槎国際高等学校湘南に入学し、日本の学生と共に学び、生活をします。ツェリング・ペンジョ君は陸上専攻に、ソナム・チョデンさんとニダップ・ドルジ君はアーチェリー専攻にそれぞれ所属し、トレーニングに励みます。学校の様々な行事や授業にも参加し、日本の学生との友好も深めています。また、日本に来てから既に1年以上になるエリトリア出身の先輩留学生アヌール・モハメド・アタ君やデジェン・テスファレム・ウェルドゥ君ともすぐに仲良くなり、お互いの国について教えあったり、日本についての意見を話し合ったりしています。まだ始まったばかりの日本での生活、これから留学生たちが、日本でどのように成長して行くのか、暖かく見守っていきたいですね。

記録更新、自分への挑戦

星槎国際高校湘南の留学生たちは、様々な試合、記録会などに参加し、それぞれの競技で自分の力を発揮する機会を持ちました。陸上専攻の長距離では、アヌール君が5,000mで14分56秒08、3,000mで8分34秒52、1,500mで4分01秒61と自己記録を更新しました。短距離ではツェリング君が800mで2分03秒08、400mで52秒76と自己記録、そしてブータン記録を更新するという快挙を成し遂げました。また故障で長らく試合から遠ざかっていたデジェン君も、競技復帰を果たし、良い結果を出す為に練習に励んでいます。

新設のアーチェリー専攻所属のニダップ君とソナムさんは、韓国への遠征（韓国光州日本交流大会）や国際大会（第2回ISPSハンダカップ）にも参加するなど、アーチェリーについて多くの事を学びました。今秋は様々な大会に出場し、経験を積むことで、ますます競技力に磨きををかけていくことを目指します。

今後も、彼等の活躍にご期待いただくと共に、暖かいご支援をよろしくお願いします。

(FGC 事務局 小野木愛)



アーチェリーの練習に励むソナムさん（写真手前）とニダップ君（奥）



アヌール君、東海大学記録会にて



日本で初めての試合に臨むツェリング君

留学生課外活動紹介



横浜開港資料館「たまくすの木」の前で



国立科学博物館前で



教室に作品を掲示して記念撮影

留学生生徒達の多文化理解を深めるとともに、日本での生活様式に自信をもって対応出来る能力を養う目的で課外学習を含め総合学習の授業を設けております。今年度は課外活動や習字を通して日本文化の理解を深め、日本での生活様式を体験することを目標としています。

5月に上野の国立科学博物館「特別人体展 神秘への挑戦」見学へ、また6月に横浜の横浜開港資料館へ行ってきました。

生徒たちの感想をご紹介します。

デジェン君「ハムストリングの模型を見れたことが興味深かった。」

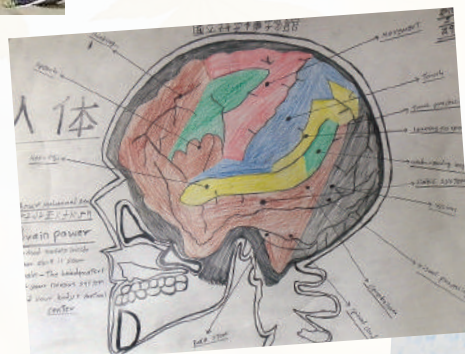
アヌール君「横浜開港資料館で、アラビア語で表示された日本の歴史を読めておもしろかった。」

ソナムさん「駅的女子トイレで並ばなくてはいけないというのをはじめて知って驚いた!」

ニダップ君「日産で最新の車を見て、ドライビング・ゲームをしたのが思い出に残った。」

ツェリング君「みなとみらい線の地下に行くエスカレーターがすごい!」

これらの課外授業では事前に、電車の時間の調べ方、レストランやカフェでの注文の仕方、日本の歴史・文化についても学習しました。また課外授業の翌週には振り返り授業として絵や文章で作品を作り、教室や廊下へ掲示しました。(FGC 事務局 井上美智代)



アヌール君作: Brain Power



ニダップ君作

オリンピックコンサート 2018 開催

6月8日に『オリンピックコンサート 2018』が東京国際フォーラムにて開催されました。2020年に向けた国際協力プログラム「IOC オリンピックソリダリティ 東京 2020 特別プログラム」の対象選手として選ばれている星槎国際高校湘南に在籍する留学生5名（エリトリア「アヌール・モハメド・アタ君、テスファレム・ウェルドウ・デジェン君」、ブータン王国「チョデン・ソナムさん、ドルジ・ニダップ君、ツェリング・ペンジョ君」）も招待を受け、宮澤理事長と井上評議員と共に参加しました。オリンピックコンサートは、6月23日のオリンピックデーを記念して全世界で行われているオリンピックデーイベントの一環として開催されています。

オリンピックコンサートは1997年からJOCが主催となって始まった日本独自のもので、オリンピックムーブメントの推進を目的としたオリンピズムに掲げられたスポーツと文化の融合を形にしたものです。本年は「つなげよう感動！輝こう TOKYO で！」というテーマのもと、あの感動に沸いた平昌オリンピックを豊富な映像で振り返り、フルオーケストラの生演奏がシンクロする演出が幾重にも組まれていました。そして777日後に控えた東京オリンピックにもつながる内容となっており、感動や興奮をドラマチックに呼び

起こしました。

会場には、平昌オリンピックのメダリストである原大智（スキー・フリースタイル）、小平奈緒、高木美帆、菊池彩花、高木菜那（スケート・スピードスケート）の各選手、吉田夕梨花、鈴木夕湖（カーリング）の各選手、そして東京オリンピックでの活躍が期待される次世代選手代表の荒井広宙選手（陸上競技）、小嶋美紅選手（水泳・競泳）も参加しました。

コンサートは2部で構成され、第1部では平昌オリンピックの開会式で演奏されたファンファーレから始まり、第2部では森山直太郎さんによるスペシャルステージが披露されました。フルオーケストラで新曲『人間の森』や2004年アテネオリンピックの応援歌にもなった『今が人生』等を歌い上げ、『今が人生』にはNHK東京児童合唱団も参加しました。トークコーナーでは、オリンピック出場経験がある俳優・藤本隆宏さんがMCを務め、メダリスト達の個々のエピソードや東京オリンピックにかける想い、森山直太郎さんのオリンピックの思い出が披露されました。また、男子フィギュアスケートの羽生結弦選手からビデオメッセージも届き会場を盛り上げました。最後には『オリンピック讃歌』を会場全体で合唱し、アンコールではNHK東京児童合唱団による『The Rose ～愛は花、君はその種子』も披露されました。

（FGC事務局 石田博彰）



オリンピックコンサート開始前、全国から集まったソリダリティの仲間たちと



留学生が大磯町の交流会に参加しました!

エリトリアとブータンへの理解を深める新たな切り口として食文化を通じた交流も始まっています。大磯町食生活改善推進団体が中心となって、両国の家庭でもよく食されている4品をベースとして、レシピ開発を行いました。レシピのテーマは、「日本の一般家庭で再現でき、日本人が美味しく食べることができるもの」です。3月20日大磯町において、試食会と交流会が「SKY プロジェクト」の一環として行われ、留学生も参加しました。当日は留学生達が、写真を交えて自国の紹介をした後、一緒に試作品調理の仕上げを行いました。試食会では、エリトリア料理(アリチャ、インジェラ)とブータン料理(シャモ・ダツイ、パクシャ・パ)を試食しながら、交流を深めました。

「お母さんの味を思い出しました。」

「日本に来てからはじめて自分の国を感じました。」

「こんなにたくさんの料理を用意してくれてありがとうございました。」

留学生達は久しぶりに味わう郷土料理と、参加された皆様の暖かいアットホームな雰囲気をとても心地よく感じていたようです。最後のコメントでは感謝の気持ち、驚きの気持ちをそれぞれ英語や日本語で表していました。

これからも留学生達は「SKY プロジェクト」を通して交流事業に参加していきます。

(FGC 事務局 井上美智代)



エリトリアの主食「インジェラ」をデジェン君が作ってくれました!



現地の味に近く、日本人にも美味しく食べられることを目指して開発されたレシピです。

「SKY プロジェクト」について

神奈川県・小田原市・箱根町・大磯町、そして星槎グループは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプの協定を、エリトリア国、ブータン王国、ミャンマー連邦共和国と結んでいます。各国との交流を通じて、「地域における (S) スポーツの振興、(K) 教育文化の向上、(Y) 友好関係を構築する」という意味合いから、SKY プロジェクトと名付け、交流を推進しています。

サッカー交流支援

福島の子どもたちが 星槎湘南大磯キャンパスにて合宿

福島県相双地区の子どもたちとの、サッカーを通じてのかかわりも8年目となりました。今年は、2年ぶりに星槎湘南大磯キャンパスにて8月3日（金）～5日（日）2泊3日の夏合宿を行いました。

相双トレセンジュニア29名、監督・コーチ5名、保護者4名、ボランティア社会人1名が大磯キャンパスへ。

1日目、大磯キャンパス到着後「星槎こゆるぎカップ2018」を想定した練習をみっちりに行いました。

2日目、星槎こゆるぎカップ2018開催。相双トレセン（3チーム）、茅ヶ崎トレセン（2チーム）、FC天神（2チーム）、平塚トレセン、SFAT伊勢原、秦野FCの合計10チームが参加しました。

5チームずつの予選リーグと決勝トーナメントを行いました。結果は、優勝茅ヶ崎トレセンBチーム、準優勝茅ヶ崎トレセンAチーム、相双トレセンはA

チームが最高の第5位でした。結果は満足するものではありませんでしたが、多くのチームと試合できたことで8月下旬に福島県で行われるトレセン大会への良いチーム作りのスタートとなりました。

3日目、星槎国際高校湘南の永瀬コーチ、平田コーチがこどもたちに指導。永瀬コーチによる周りを見ながらのシュート指導では、こどもたちは「頭使うー!」と言葉にしながらも楽しんで行っていました。平田コーチから一からキーパー指導を受けた小学生2名は、メンタル面も強化され、ボールを止めに行く姿は監督・コーチを驚かせていました。指導終了後には「高校は星槎に行きたい!」という声が聞こえるほどでした。

炎天下の中での合宿でしたが、保護者の方々のサポートがあり、誰もケガや体調を崩すことなく無事終了することができました。この3日間の経験やかかわってくれた人たちへの感謝する気持ちがこれからのこどもたちを大きく成長させることを願っています。頑張れ! 相双トレセンジュニア! (FGC事務局 太田啓孝)



茅ヶ崎トレセンは強かった一、次は勝つぞ!



憧れの平田コーチと記念撮影!

こどもたちからのコメント

永瀬コーチ、平田コーチからとてもわかりやすく教えてもらって、とてもうれしかったです。2人ともとてもカッコよく、自分もコーチたちのようになりたいと思いました。

福島に戻ってからも、教えてもらったことを思い出し、もっとサッカーがうまくなるように頑張ります。ありがとうございました。

保護者からのコメント

こどもたちは、本当に伸び伸びとサッカーを楽しんでいました。また来年も来られたら一段と成長したこどもたちの姿を皆さんにお見せできると思います。とても貴重な機会をいただき、親子ともども感謝しております。ぜひ、星槎の皆さんも福島に来てくださいね!

SEISA Africa・Asia Bridge2018を開催します!



日 時

2018年11月10日(土)・11日(日)

場 所

星槎中学高等学校

〒241-0801 横浜市旭区若葉台 4-35-1

主 催

公益財団法人 世界こども財団

学校法人 国際学園

SEISA Africa・Asia Bridge2018 実行委員会

昨年、35 か国以上、約 7,200 名もの方々にご来場いただき大盛況の末終了した SAAB を今年も開催いたします。入場料無料、こどもから大人まで楽しめるイベントとなっております。みなさまのご来場お待ちしております!

【お問合せ】世界こども財団 事務局 (下記)

2018年1月~2018年8月 寄付モノ・寄付コラボ商品の報告

寄付モノ	(円)	寄付コラボ商品	(円)
本	112,624	自動販売機 (販売社 15 社より)	
カード類 (テレカ・図書カード・各種金券等)	95,700	売上より	4,527,078
合 計	208,324	合 計	4,527,078

全国の皆様のご厚志でこんなに寄付が集まりました。心より御礼申し上げます。

(2018年8月末)

ご協力いただいている企業・団体様 (順不同)

●アマチュア無線関係の皆様 ●(株)トキコ・プランニング ●(株)ルミネ ●(株)ルミネクリエーツ ●コグメド・ジャパン(株) ●(株)全日警横浜支社 ●山下寝具(株) ●(有)オク・インターナショナル ●(株)興学社 ●(株)ユーミーホールディングス ●東海ブランド(株) ●はやし亭 ●フルサワ印刷(株) ●道東基礎工業(株) ●伊藤平左衛門建築事務所 ●(一社)日本ミャンマー協会 ●国際ソロプチミスト二宮 ●(株)横浜リテラ ●(株)バリューブックス ●(株)湘南ウイル ●(株)ダイードリンク ●西武商事(株) ●コーシンサントリービバレッジ(株) ●(株)八洋府中営業所 ●コカ・コーライーストジャパン(株) ●コカ・コーラウエスト(株) ●北海道コカ・コーラボトリング(株) ●東京麒麟ビバレッジサービス(株) ●北海道麒麟ビバレッジサービス(株) ●麒麟ビバレッジバリューベンダー(株) ●北海道ベンディング(株) ●(株)ベネフレックス ●ユニヴァーサル商事(株) ●(有)安田コーポレーション ●大蔵屋商事(株) ●FV ジャパン(株) ●合同会社 SV 北陸 ●(有)山川屋 ●学校法人武蔵野学院 ●ワットマンスタイル二宮店 ●ツルセミ ●みんな電力(株) ●(株)プリンスホテル ●箱根建設(株) ●(株)JTB コーポレートセールス ●富士屋ホテル(株) ●(株)アストロ ●(株)プロコミュニケーション ●(有)ケンセー ●(株)大塚商会 ●東京体育用品(株) ●共栄建設(株) ●(株)カナナリ ●トレーラーハウスデベロップメント(株) ●(株)g-3 ●サントリービバレッジ(株)北海道営業本部 ●三基工業(株) ●浜松帝国警備保障(株) ●(有)丁 ●京都ハウジング(株) ●学びリンク(株) ●NPO 法人トータルケアセンター ●(有)左衛門 ●(株)ドリーム ●学校法人田島学園 ●(株)山一地所 ●医療法人社団鉄匠会 ●(株)伊藤園 ●FTI (株) ●(株)みやざき ●アイリスチトセ(株) ●(株)鈴廣蒲鉾本店 ●小田原ヤクルト販売(株) ●星友会 ●星親会 ●星睦会 ●星槎全国生徒会

その他、個人、企業の皆さまから多大なるご協力をいただいております。誠にありがとうございます。

表紙の写真

上から ●ミャンマー事前キャンプ調印 ●ブータン王国プナカにて『オリンピックデーセレブレーション』 ●ブータンからの新留学生 (左からソナムさん、ツェリング君、ニダップ君) ●SKY プロジェクト大磯町のみなさんと試食会・交流会 ●サッカー交流 『星槎こゆるぎカップ』



2018年10月発行

公益財団法人 世界こども財団

〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷 1805-2 (星槎グループ内)

TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp

ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界こども財団」で検索!

印刷: フルサワ印刷株式会社 制作: 岡村直実 (JC ユニット)

